

# お片付け上手な親子になる!!

## ～自分でできる仕組みづくり～

日時：令和5年8月4日（金）10時～12時  
場所：徳地地域交流センター  
講師：牧野 久美 氏（整理収納アドバイザー）  
受講生：大人 9人 小学生11人



部屋が片づく仕組みを、先生の実体験も交えながら親子で学びました。クイズ形式や、付箋に親子それぞれの言葉で書くワークをしながら、片付けが必要な理由を考え、親子それぞれの視点で片付けに向き合う体験を通して、より良い生活習慣の習得とより良い親子関係に繋げる方法を伝えていただきました。

### 目標

片づく仕組みを学んで、自分で片付けができるようになりましょう！

では考えてみよう

？「片付いた部屋」ってどんな部屋？

〈みんなの意見〉

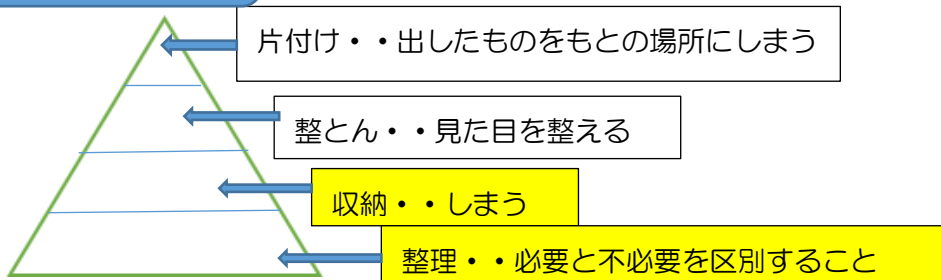
物の場所をきめてあってさっぱりした部屋 すっきりな部屋 楽しい部屋 勉強しやすい部屋  
いらぬものといふものが区別されている部屋 家に入ったとき気持ちいい部屋 等々

「片付いた部屋」・・・感じ方はひとそれぞれ

「片付け」といってもいろいろ。  
片付けピラミッド（積み木）の 土台となることは何か？  
（片付けで大切なのは何か？）



### 片付けとは



整理・収納が  
片付けの  
2大ポイント

# どうして片付けないといけなのでしょう？

みんなで考えてみました・・（あなたはどう思いますか？）

## 小学生の意見

・次に遊ぶときに遊びやすい・物をなくしやすいから・きれいな部屋で過ごすため・掃除しにくい・どこになにかあるかわかりにくい・汚いとその部屋に行きたくなくなる

## 保護者の意見

・気分がよくなる・生活しやすい・ごみがたまるから・使いたいときにすぐ使える・持っているのにまた同じものを買ってしまう・ものをなくさないため・時間にゆとりができる・自己嫌悪になる



片付いていないと・・時間・お金・気持ちによくない影響がある



## 片付けるためにどうしたらいいでしょう？

1.一度物を全部出す

2.必要なもの、不要なものを区別する(使用頻度で)・・・自分で決める！

3.物の住所を決める

片付く  
仕組み

コツ 1 グループに分ける(整理する)

コツ 2 置きやすい場所には使うもの、置いていても困らない場所

(使にくい場 所取にくい場所)に使わないものを置く

本当に使うものだけを使いやすい（しまいやすく出しやすい）ところに置く・・もとに戻す習慣をつけることで自分を困らせる（ないと困ることがわかる）

※使いやすい場所→置きやすいのでついついいろんなものを置きがちだけど本当に使うものだけを置く

- ・使用頻度の少ないものがよく使うものの場所に置いてあることで片付かない
- ・あまり使わない物・使わない物・・処分・売るだけではない。

コツ 3 ラベルを張る『自分も周りの人も、困らないようにするため』

片付けは『思いやり』=一緒に過ごす相手も自分も思いやる気持ち

でもやっぱり面倒だな～と思ったら・・思い出してみよう！

なぜ片付けないといけなかったんだっけ？もとに戻って考えてみよう！

今日からできることはなんでしょう？





Q 鉛筆はどこまで削って使う？

A キャップを使っても使いづらいので結局使わない。

鉛筆削りで削れなくなったら処分でもよいのでは。

Q お父さんとの意識の共有

A 自分たちが楽しそうに片付けをする。そのうえで頼むことがあればお願いする

Q.片付けてほしいときの声掛けのタイミング

A.何かする前。見かけたときにすぐに言うのではなく、出かけるときや、ご飯の前に必ず片付けて食べるなど、ルール作りをする。

Q.洗濯物をたたんだ後、子どもたちがなかなか片付けない

A.声掛けのタイミングをきめて頻繁に繰り返す。

Q.家族の洋服の片付け術

A 先生の家では、押し入れの戸を外して、家族のものをすべて一か所に置くようにして先生が管理。

子どもさんにとってもその様子を見ているので、自立した時に自分でできると思う。

Q 夏休みの宿題に自由研究

A ビフォーアフターの写真を撮って、どんなところを工夫したかを文章にするとよいのでは？

Q 学校や幼稚園から持ち帰る子どもの作品をどのように管理したらよい？

A 作品の写真を撮り、子どもさんの意見を尊重して処分を考える。

## 受講者の皆様のご感想を一部ご紹介いたします

★整理収納アドバイザーさんの講座だったので、整理収納の仕組みがよくわかり、親子ともに取り組んでいけそうで大変良かったです。

★具体的で、親しみやすい例のお話、とても分かりやすかったです。片付いた部屋は「人それぞれ」という言葉、とても響きました。家族の気持ちを大切にしながら片付けていこうと思います。楽しい講座でした。あっという間の2時間でした。

★片付けてって本当に難しい・・・物への思い出が人によって違うし、・・・でも片付けをした後のすがすがしい気持ちも知っているので、自分でできることを少しずつしていきたいと思います。

★娘の部屋を片付けるためにこの日を楽しみにしていた母親と、思春期でしぶしぶついてきた娘と二人で受講しましたが、先生の話をも素直に聞いてメモを取り、私も片付けのモチベーションが上がり、親子でとても良い刺激を受けました、夏休み中に娘の部屋を二人で片付け、気持ちの良い新学期を迎えたいと思います。